

平成25年度事業報告書

I 概 要

本会は事業計画に基づき、「保健医療の確保」「地域医療の発展」、「公衆衛生の向上」を目指す職能団体として、公益目的事業を中心に諸事業を実施するとともに、薬局、薬剤師を通して江戸川区民の「くらしと健康」を守る活動、情報提供を行いました。

また、会営臨海薬局の適正な業務運営、江戸川区からの受託事業の的確な業務運営により、地域医療の向上に貢献いたしました。

1. 設立年月日

平成18年4月1日

(平成24年4月1日 公益社団法人設立 登記)

2. 定款に定める目的

本公益社団法人は、薬剤師及び薬学又は薬業に勤める者の倫理的かつ学術的水準を高めるとともに、薬学又は薬業の進歩発展を図り、江戸川区民の保健医療及び公衆衛生の向上と増進に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬剤師の倫理・職能に関する事業
- (3) 保健医療および公衆衛生の普及指導・薬事衛生に関する事業
- (4) 医薬分業の促進及び地域医療の発展に関する事業
- (5) 学校その他集団施設の保健衛生・環境衛生の適正化に関する事業
- (6) 医薬品・情報管理センター運営に関する事業(現在、情報管理センターは未設置)
- (7) 救急医薬品・災害時医薬品の備蓄に関する事業
- (8) 医薬品及び医療資材の普及と適正化に関する事業
- (9) 会営薬局に関する事業
- (10) 関係機関に対する協力に関する事業
- (11) その他、本会の目的を達成する為に必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

東京都 生活文化局 都民生活部 管理法人課

5. 会員の状況

会員の種類	当期末	前期末	期末比増減
正会員(管理薬剤師会員)	181名	185名	△4名
正会員(薬 剤 師 会 員)	63名	64名	△1名
特別会員	0名	0名	0名
計	244名	249名	△5名

6. 主たる事務所・支店の状況

主たる事務所: 東京都江戸川区中央1丁目3番 13 号 中里ビル 3階 (事務局)
 従 たる事務所: 東京都江戸川区臨海町1丁目4番5号 (会営臨海薬局)

7. 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事長(会長)	篠原 昭典	非常勤	事務局総括、総務委員会
理 事(副会長)	有阪 捷子	非常勤	夜間・休日急病診療所調剤委員会 会営臨海薬局委員会
理 事(副会長)	石井 和子	非常勤	学校保健委員会
監 事	山口 秀一	非常勤	十字堂薬局
監 事	田口 勝富	非常勤	税理士

8. 職員に関する事項

職 員 数		前期末比	平均年齢	平均勤続年数
男 子	6名	0	45.3 歳	2年
女 子	15名	0	44.5 歳	3年8ヶ月
合計又は平均	21名	0	44.7 歳	3年3ヶ月

9. 許認可に関する事項

なし

1 II 事業の状況

1. 事業の実施状況

【公益目的事業】

薬学及び薬業の進歩発展に関する事業(定款第1号事業)

■研修事業

1. えど薬研修

江戸川区薬剤師会が行う、全会員を対象とした「新薬」等の研修会(年間14回開催、557人参加)

開催日	テーマ	参加人数	共催・講師名
25.04.10	DPP4阻害薬を中心とした糖尿病治療薬の選択方法	49人	(株)三和化学研究所
25.05.15	脳梗塞予防と抗凝固治療法の重要性	66人	バイエル薬品株式会社
25.06.19	東日本大震災を教訓に薬剤師として、医療人としての備えを考える	43人	東京大学附属病院 高山 和郎 先生
25.07.10	緑内障で今、知っておきたいこと	65人	ファイザー株式会社
25.09.18	パーキンソン病と治療について	49人	協和発酵キリン株式会社
25.10.16	間節リウマチの新たな治療戦略	54人	ファイザー株式会社
25.11.06	認知症における薬歴管理と服薬指導の留意点	18人	エーザイ株式会社
25.11.13	小児低身長のかた	36人	ノボノルディスクファーマ(株)
25.11.20	認知症における薬歴管理と服薬指導の留意点	16人	エーザイ株式会社
25.12.11	明日から使える薬剤師として知っておきたい感染制御の基礎知識	55人	東京大学附属病院 高山 和郎 先生
26.01.15	認知症における薬物療法の意義と適正使用に	34人	第一三共株式会社
26.02.19	在宅業務の流れ等DVD上映 薬局をとびだせ！在宅へ行こう！	29人	エーザイ株式会社 (大林薬局 大林武史先生)
26.03.10	肥満症治療の重要性と新規治療剤オブリーン錠への期待	12人	武田薬品工業株式会社
26.03.19	在宅業務の流れ等DVD上映 薬局をとびだせ！在宅へ行こう！	31人	エーザイ株式会社 (大林薬局 大林武史先生)

2. 地区研修

東京都薬剤師会が、全会員を対象に行う「薬学・医学」の講習会(年2回、88人参加)

開催日	テーマ	参加人数	共催・協力
25.08.24	都薬アワー パーキンソンの副作用にどのように対処するか 保健所からの連絡事項、SPの活動報告	56人	東京都薬剤師会 江戸川保健所
26.02.08	都薬アワー 高田病院の3月11日～薬剤師さんの大切さ～ トリアージについて	32人	東京都薬剤師会 岩手県立高田病院内科 上野正博先生 江東病院副院長 三浦邦久先生

3. その他研修

江戸川区薬剤師会が協力して行う、ベットのサイドティーチング、エリア限定の勉強会(年6回、197人参加)

開催日	テーマ	参加人数	共催・講師名
25.04.20	バキシルCR錠について 精神科領域で処方する薬全般について	27人	エリア研修会 大日本住友製薬株式会社
25.07.25	経腸栄養の基礎と処方設計 最近の栄養剤について	18人	臨海薬局勉強会 ネスレ日本株式会社
25.09.26	輸液に用いる医療器材について HPNについて	6人	臨海薬局勉強会 テルモ株式会社
25.11.09	消化管運動機能改善剤 ガスモチンについて 流動性食道炎について	18人	エリア研修会 大日本住友製薬株式会社
25.12.17	重症患者に対する栄養療法について	12人	ベットのサイドティーチング ファイザー株式会社
26.03.28	薬事法の改正について(概要) 診療・調剤報酬改定関係(薬局・薬剤師に関する項目)	116人	伝達講習会 江戸川保健所 アルフレッサ株式会社

■スポーツファーマシストの育成及びアンチ・ドーピング活動の実施

スポーツファーマシスト事業はスポーツファーマシストの育成を行うとともに、スポーツ選手及び関係者に向けたアンチ・ドーピング活動に取り組むことを目的とした事業です。

平成25年度は、スポーツ祭東京2013が行われ、当会は江戸川区にて実施されたボート、ラグビー、ローラースポーツ開催会場において、スポーツ振興課の協力を得て設けた専用ブースでアンチ・ドーピング活動等を実施いたしました。

スポーツファーマシスト育成のための研修会・講習会の開催

開催日	テーマ	参加人数
25.06.26	ドーピング防止講習会	37人
25.07.21	うっかりドーピング防止スキルアップセミナー	12人

26.01.31	相談を受けたとき、どう対応する？ みんなで考えてみよう！～国体での実際の相談を例に～	14人
26.02.19	SP 新規資格取得サポートセミナー	8人

スポーツ祭東京2013開催会場におけるアンチ・ドーピング活動等の実施

開催期間	競技名	参加 SP	活動内容
25/9/11～9/15	ボート	7人	・啓発資料の配布 ・肺機能検査 ・お薬相談
25/9/29～9/30 25/10/2～10/3	ラグビー フットボール	10人	・肺機能検査 ・お薬相談 ・ドーピング相談 ・啓発資料の配布 ・ドーピングクイズ
25/10/6	ローラースポーツ	5人	・肺機能検査 ・お薬相談 ・ドーピング相談 ・啓発資料の配布 ・ドーピングクイズ

※9月11日～13日のボート会場で実施された日本アンチ・ドーピング機構のアウトリーチに当会より6名の SP が参加した。

その他の活動

・ドーピング防止ポスターの作成・配布

配布・掲示先： 区内薬局、国体開催会場、フィットネスクラブ、区のスポーツ振興課管轄施設、区内の中学校、高等学校、スポーツ関連団体

・ドーピング相談窓口の開設

QR コードからアクセス可能な相談フォームを作成し、ポスター、Facebook、えど薬だよりを通じてアナウンス。

・ホームページ(HP)、Facebook、えど薬だよりを通じた情報発信

情報発信内容:アンチ・ドーピング、講習会案内、活動レポート等

薬剤師の倫理・職能に関する事業(定款第2号事業)

■薬事衛生自治指導員による巡回指導と自主点検事業

公益社団法人東京都薬剤師会からの要請により薬事衛生自治指導事業として「薬と健康の週間」に合わせて、10月、11月に薬事衛生自治指導員による「自主点検表」を使用した巡回指導が実施されました。

また、自主点検に先立ち東京都薬剤師会が主催する「薬事衛生自治指導員全体講習会」への参加及び当会が主催する「自治指導員会議」を開催いたしました。

1. 薬事衛生自治指導員全体講習会

- ・開催日：平成25年9月7日
- ・講習内容：①最近の薬務行政について ②今年度の自治指導事業と巡回指導について

2. 自治指導員会議

- ・開催日：平成25年10月17日
- ・会議内容：自主点検に向けた留意事項の確認

3. 自主点検実施期間

- ・実施期間：平成25年10月23日～平成25年11月15日

4. 自主点検実施要領

- ・自主点検表の作成
- ・自主点検表の担当自治指導員への報告
- ・薬事衛生自治指導員による報告書の作成

5. 平成25年度の薬事衛生自治指導員

担当地区	氏名	薬局名	指導薬局数
平井	山口秀一	十字堂薬局	17店
江戸川	小菅貞男	小菅薬局	11店
松江	那須英司	薬局オーエスファーマシー	8店
一之江	高木昇司	みづえ薬局	14店
葛西東	船越 恵	セイワ薬局	13店
葛西東	岩田正子	ハル薬局	10店
今井	小菅治男	小菅薬局	18店
葛西北	舩津悦子	フナツ薬局	17店
葛西西	若色隆司	わかいろ薬局	16店
小岩1班	鹿倉秀雄	シカクラ薬局	9店
小岩2班	大林武史	大林薬局	10店
小岩3班	永妻伸介	ながつま薬局西小岩店	9店
小岩4班	堀 眞通	エビス薬局	9店
小岩5班	北川太郎	みさき薬局	9店
小岩6班	谷口 明	谷口薬局	11店

保健医療および公衆衛生の普及指導・薬事衛生に関する事業(定款第3号事業)

■薬学生の実務実習の受入体制の整備事業(保険委員会担当)

実務実習は薬剤師の養成を目的とした薬学教育の一環として義務付けられており、当期は11ヶ所の薬局で年間(第Ⅰ期～第Ⅲ期)20名の実務実習生を受入れました。

1. 実務実習生受入れ薬局の意見交換会の開催

第1回 平成25年4月16日

第2回 平成25年8月9日

第3回 平成25年12月10日

2. 平成25年度実務実習生受入れ薬局と受入人数

受入薬局	受入人数	その他
ありさか薬局	2人	
エド川薬局	2人	
黒田薬局	2人	
セイワ薬局	2人	
セイワ薬局西葛西店	2人	
三和調剤薬局西葛西店	2人	
三和薬局パトリア店	3人	
アップル薬局小岩店	2人	
グリーン薬局	1人	
ミルキー薬局	1人	新規受入
薬局トモズ西葛西店	1人	新規受入

3. 実務実習受入薬局伝達講習会の受講者

・開催日:平成26年3月12日

・受講者数:9名

4. 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

・開催日:平成25年5月4日・5日 受講者数:1人

・開催日:平成25年7月14日・15日 受講者数:1人

・開催日:平成25年8月17日・18日 受講者数:1人

・開催日:平成25年11月3日・4日 受講者数:1人

・開催日:平成26年1月12日・13日 受講者数:1人

医薬分業の促進及び地域医療の発展に関する事業(定款第4号事業)

■お薬相談事業

江戸川区から「くすりの相談事業」を委託され、電話(フリーダイヤル)による相談、面談による相談(予約制)、区民を対象とした「健康講座」の開催を公益目的事業として実施しています。

また、介護施設や区福祉からの要請で、お薬の説明会と個別相談会を実施しています。

1. フリーダイヤルおよび予約来局による「薬」の相談

○電話による相談

- ◆受付件数: 346 件(前年比: 113 %)
- ◆延べ相談時間 57.5 時間(前年比: 120 %)

○予約来局による相談

- ◆ 11 人(前年比: 275 %)

2. 地域住民を対象としたお薬相談

○区民まつり(10月13日)での肺機能検査とお薬相談

- ◆肺機能検査 355件(前年比: 178%)
- ◆お薬相談 26件(前年比: 72%)

○ウオーキングファスタ(11月23日)での肺機能検査とお薬相談

- ◆肺機能検査 70件(前年比: 219%)
- ◆お薬相談 3件(前年比: 300%)

3. 江戸川区民を対象として行う健康講座

	開催日	テーマ	講師	参加人数
1回目	25.10.20	緩和医療 Part-1～がんと栄養を中心に～	黒田誠一郎	4名
2回目	26.02.22	緩和医療 Part-2～がんと栄養を中心に～ 「生活習慣を考える」	黒田誠一郎	27名
3回目	26.03.08	緩和医療 Part-3～明日も笑っているために～	黒田誠一郎	22名

4. 介護施設の利用者とその家族・従業員を対象に行う「介護」「薬」に関する講習会

- ◆開催日: 8月8日
- ◆開催場所: 「新川さくら館」
- ◆参加者: 36名 ・薬剤師 2名

医薬品・情報管理センター運営に関する事業(定款第6号事業)

■使用済み注射針の回収事業

会員店舗が患者様から回収した使用済の注射針を引き取り、感染性産業廃棄物として、専門業者と契約しての一括処理を行っています。

なお、使用済みの注射針の回収にあたっては、当会では江戸川区が東京都薬剤師会を通して購入した「回収専用ボトル」の供給を受け、会員が持ち込んだ使用済み注射針と引き換えに「回収専用ボトル」をお渡ししています。

■回収専用ボトル頒布・回収状況

項目	回収容器数	会員へ渡した 回収容器数	区から頒布された 回収容器数
	5,916 個	7,776 個	8,000 個
前年比	116%	131%	133%

※会員からの回収容器数のうち、「回収専用ボトル」以外のものの回収は 168 個(前年比 89%)で、全体の 2.8%に相当します。

救急医薬品・災害時医薬品の備蓄に関する事業(定款第7号事業)

当会では、当期末から4年間にわたり災害時備蓄医薬品の購入を目的として毎期750万円の積み立てを行い、来期より備蓄医薬品の購入を実施いたします。

また、当会では、医師会をはじめとする医療関係団体、東京都、江戸川区などの行政機関と連携し、防災対策、災害時の地域連携についての会議に参画し、災害時での薬局、薬剤師会の対応、BCP(事業継続)の策定などについて話し合いを行っています。

■災害時における医薬品の備蓄事業

1. 備蓄医薬品の購入及びスケジュール

	購入資金の積立	医薬品の購入	積立金残
25年3月末	7,500,000		7,500,000
26年3月末	7,500,000	6,373,932	10,335,853
27年3月末	7,500,000	10,335,853	7,500,000
28年3月末	7,500,000	7,500,000	7,500,000
29年3月末	0	7,500,000	0

1. 災害時に備え購入又は装備した備品類

- ◆ビブス 30着、ベスト 30着
- ◆無線機 20台、災害時無線電話 4台
- ◆寝袋 20個、災害時防水シート 15枚
- ◆ヘッドセットランプ 20個

2. 江戸川区主催の防災訓練への参加

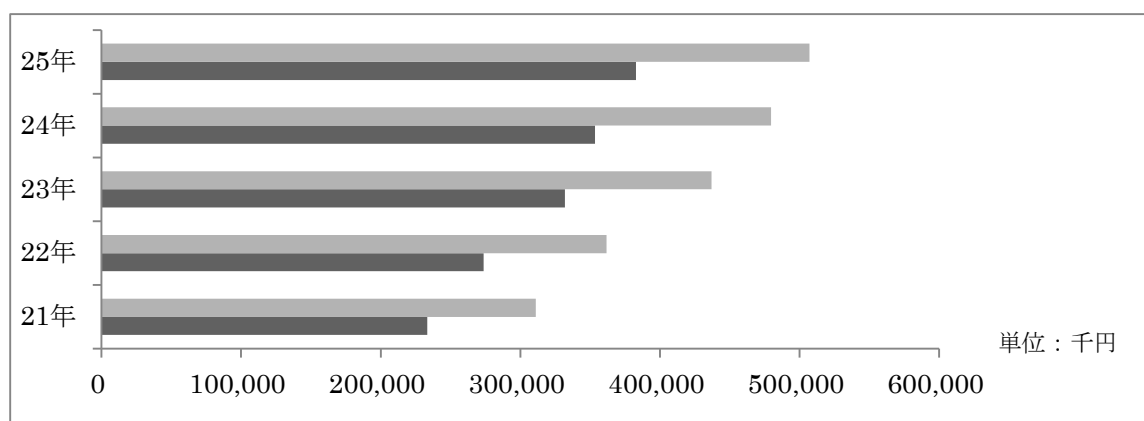
- ◆実施日： 7月 25日
- ◆参加者： 薬剤師： 2名、事務局： 5名、実務実習生： 5名
- ◆災害時協力店舗会員： 111店舗
- ◆東京都災害時医療救護従事者： 23名

会営薬局に関する事業(定款第9号事業)

■会営臨海薬局の経営

会営臨海薬局の経営は、当会の公益目的事業の中核をなしており、年々取扱高、処方せん枚数を伸ばしており、全事業の50%以上は公益目的事業でなければならないという公益法人の認定条件である事業費率を維持していく大きな役割を果たしています。

1. 売上高と仕入原価の推移



2. 臨海病院における医薬分業

- 臨海薬局処方箋受付枚数 35,622 枚(前年比：101.%)
- 病院内のFAX指名送信(臨海薬局以外)処方箋枚数 10,073 枚(前年比：108%)

3. 設備投資

(1) 調剤監査システム	2,300,000 円
(2) 軟膏剤混和機	624,750 円
計	2,924,750 円

■各種積立金(公益法人認定法第5条第6号による)

○医薬品備蓄積立金(災害時備蓄医薬品購入)	7,500,000 円
○資産取得積立金(電子レセプト購入)	1,000,000 円
○薬剤師会館建設積立金	18,060,000 円

行政機関に関する事業(定款第10号事業)

■委嘱を受けた委員会への協力

- ・「江戸川区介護認定審査会」委員(4名)
- ・「江戸川区公害健康被害補償診療報酬審査会」委員(2名)
- ・「江戸川区国民健康保険運営協議会」委員
- ・「江戸川区保健所運営協議会」委員
- ・「江戸川区食育推進連絡会」委員
- ・順天堂江東高齢者医療センター「高齢者福祉・医療の複合施設地域連携協議会」委員
- ・東京都薬物乱用防止推進江戸川地区協議会委員(2名)
- ・「江戸川区精神障害者退院促進支援連絡調整会議」委員
- ・江戸川区新型インフルエンザ情報連絡会
- ・「公共施設のあり方懇話会」委員
- ・「熟年相談室(江戸川区地域包括支援センター)運営協議会」委員
- ・江戸川区がん予防推進協議会部会員
- ・「江戸川区学校保健委員会」委員(2名)
- ・災害時協力協定団体連絡会
- ・感染症予防対策委員会(オブザーバー)
- ・区東部二次医療圏地域災害医療連携会議
- ・小松川パートナーシップ会議メンバー
- ・「江戸川区介護保険事業等改定検討委員会」委員

その他本会の目的を達成する為に必要な事業(定款第11号事業)

■「くすりの正しい使い方」ポスターコンクール事業

江戸川区内の小学校、中学校を対象に「くすりの正しい使い方」ポスターを募集し、応募作品の中から優秀作品を選考して表彰するとい企画で大変大きな反響がありました。この企画はポスターコンクールを通して生徒児童、ご両親はもとより、区民の皆様にくすりに関する理解を深めていただくとともに、薬局・薬剤師を身近に感じてもらうこと目的としています。

1. ポスターコンクールの概要

- ◆募 集 期 間: 平成25年9月20日～10月12日まで
- ◆応 募 校 数: 26校、 ◆応募作品数: 348点

- ◆入賞作品数: 86点(教育委員会賞3点、薬剤師会会長賞3点、最優秀賞3点、優秀賞6点、佳作71点)
- ◆賞品賞状: 参加賞(簡易救急セット)、賞品・賞状(メダル、賞状)

2. 展示と表彰式

- ◆展示:タワーホール船堀 1階展示ホール1に入賞作品86点全てを展示
- ◆表彰:10月27日タワーホール船堀 1階の展示ホール2にて優秀作品に対する表彰式を児童・生徒、ご両親、関係者が出席して行われました。

3. カレンダーの制作

- ◆教育委員会賞、薬剤師会会長賞が掲載されたカレンダー(4月～3月)を制作し関係者・関係団体にお配りしました。
- なお、優秀作品15点につきましては、当会のホームページにて毎月5作品を公開しました。

【収益事業】

医薬分業の促進及び地域医療の発展に関する事業(定款第4号事業)

■夜間急病診療所調剤室に薬剤師を配置する事業

1. 夜間急病診療所調剤

江戸川区から夜間診療における調剤室に配置する薬剤師に関する事業を委託され、江戸川区医師会館にある「江戸川医師会附属診療所」に薬剤師を配置し、調剤業務および医薬品の管理を行っています。

- ◆薬剤師の配置 毎日 21:00～24:00
- ◆延べ配置日数 365 日(前年比:100%)
- ◆延べ配置人数 446 人(前年比:100%)
- ◆延べ取扱い処方箋数 4726 枚(前年比: 88%)
- ◆疑義照会件数 120 件(前年比: 111%)
- ◆お薬手帳記入 204 件(前年比: 76%)

2. 休日急病診療所調剤

江戸川区から休日診療における調剤室に配置する薬剤師に関する事業を委託され、江戸川区医師会館にある「江戸川医師会附属診療所」に薬剤師を配置し、調剤業務および医薬品の管理を行っています。

- ◆薬剤師の配置 日曜・祝日 9:00～17:00
- ◆延べ配置日数 61日(前年比: 98%)
- ◆延べ配置人数 154 人(前年比:103%)
- ◆延べ取扱い処方箋数 2674 枚(前年比: 79%)
- ◆疑義照会件数 64 件(前年比:107%)
- ◆お薬手帳記入 213 件(前年比: 84%)

3. 休日急病診療所調剤(年末・年始、ゴールデンウィーク)

年末年始・5月の連休における江戸川区医師会の休日診療への調剤等の協力事業で江戸川区医師会館にある「江戸川区医師会付属診療所」と「船堀休日急病診療所」の2ヵ所に薬剤師を配置し、調剤業務及び医薬品の管理を行っています。

◆薬剤師の配置	年末年始 9:00～17:00	5月の連休	9:00～17:00
◆延べ配置日数	18日(前年比:164%)		
◆延べ配置人数	61人(前年比:226%)		
◆延べ取扱い処方箋数	1590枚(前年比:136%)		
◆疑義照会件数	50件(前年比:185%)		
◆お薬手帳記入	127件(前年比:148%)		

学校その他集団施設の保健衛生・環境衛生の適正化に関する事業(定款第5号事業)

■学校環境検査事業

1. 環境検査

江戸川区内の幼稚園・小中学校・高校を対象に、学校薬剤師が行う「環境検査」と「環境」に関する指導を行っています。

検査項目	学校数	検体数	再検査数
第1回学校飲料水の水質検査	108	135	
全国一斉調査	124		
保健室他のダニ及び ダニアレルゲン検査	111	212	
教室のホルムアルデヒド [※] 及び 揮発性有機化合物検査	107	108	
第1回学校プール水の水質検査	101	101	
第2回学校プール水の水質検査	103	103	
学校給食室衛生検査	106	106	
第1回教室空気検査(冷房時)	105	105	
第2回学校飲料水の水質検査	109	138	1
教室の照度・騒音検査	111	111	
第2回教室空気検査(暖房時)	105	105	

2. 講習会・講演の実施

江戸川区内の中高校生及び保護者・教職員を対象に学校薬剤師が行う「薬学問題」「喫煙障害」等に関する講習会(保健授業)

講習項目	講習回数	受講者人数
薬物乱用防止教室	12	1806
くすりの教室	6	890
禁煙	2	684
アルコール	1	99
手洗い教室	1	100
食物アレルギー	1	30

【共益事業(相互扶助事業)】

医薬品及び医療資材の普及と適正化に関する事業(定款第8号事業)

■医療資材の販売

平成25年販売高 63,451 円(前年比:91.5%)

■斡旋図書の販売

平成25年販売高 1,326,612 円(前年比:102%)、斡旋図書冊数 356 冊(前年比:124%)

■会員への広報誌「えど薬だより」の発行

年 12 回発行

2. 重要な契約に関する事項

臨海会営薬局に関する「建物賃貸借契約」の更新(再契約)

①契約期間:平成23年11月1日から平成28年4月30日

②契 約 先:江戸川区

3. 役員会等に関する事項

■理事会

開催年月日	議題	手続き等
平成25年4月18日	・平成24年度事業報告書及び収支報告書の承認 ・会費規程の改正の件 ・薬剤師会館(仮称)建設のための積立の件 ・会員等旅費規程改正の件 ・人事委員会規程制定の件 ・平成24年度第四四半期 担当理事報告の件	
平成25年7月12日	・登米市・南三陸町への視察研修団の出張の件	

	・区議との意見交換会における要望事項の件 ・駐車場の契約の件 ・平成25年度第一四半期 担当理事報告の件	
平成25年10月11日	・倫理委員会規程制定の件 ・DSAPプロジェクト(仮称)立ち上げの件 ・平成25年度第二四半期 担当理事報告の件	
平成26年1月10日	・中小企業退職金共済制度の導入の件 ・フルタイムパート社員の精勤手当の支給の件 ・平成25年度第三四半期 担当理事報告の件	
平成26年3月14日	・平成26年度事業計画及び収支予算(案)の承認 ・退職金規程(中退共)制定の件 ・非正規社員就業規則の一部改正の件	

■正副会長会議

開催年月日	議題	その他
平成25年4月5日	・人事委員会規程の制定及び人事委員会委員の選定の件 ・会費規程の改正の件 ・第14回総会スケジュールの件	
平成25年5月10日	・第14回定時総会の件 ・業務監査及び会計監査の監査結果の件 ・災害時の医療用備蓄医薬品リストの件	監事1名出席
平成25年6月7日	・第33回三師会懇談会(本会監事)開催の件 ・情報発信一覧の件 ・会員情報(名簿)作成の件 ・第2回「くすりの正しい使い方」ポスター募集の件 ・医薬品卸に関わる「便益労務の提供」の原則禁止の件 ・災害時備蓄医薬品納入スケジュールの件 ・平成25年度における本会が解決すべき課題の件	監事1名出席
平成25年8月9日	・本会の運営体制の件 ・登米市・南三陸町への視察研修報告の件	監事1名出席
平成25年9月13日	・会員情報(名簿)のデータ化の件 ・医薬品・情報管理センター設置の件 ・三師会チャリティゴルフの件	監事1名出席
平成25年11月8日	・薬剤師会館(仮称)建設のための候補用地の件 ・平成26年新年懇親会の件 ・3区(江東、墨田、江戸川)合同地区薬剤師研修会の件	監事1名出席
平成25年12月13日	・会員情報(名簿)のデータ化の進捗情報の件	監事1名出席

平成26年2月7日	・理事会・正副会長会議の平成25・26年度スケジュールの件 ・会員情報(名簿)のデータ化最終案の件	
-----------	--	--

■定時総会

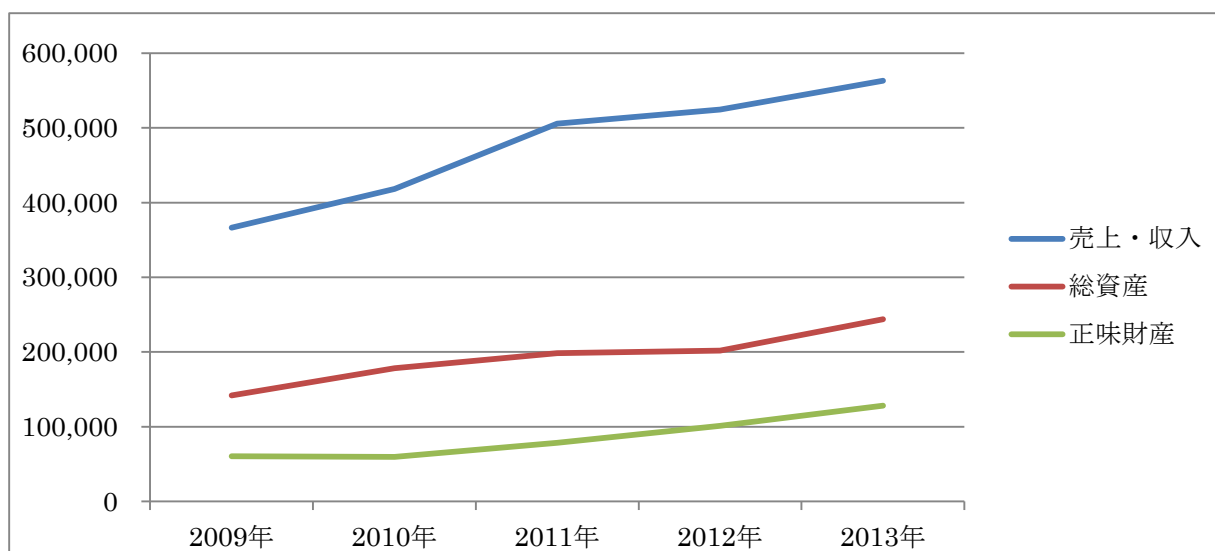
開催年月日	議題	その他
平成25年5月25日	・平成24年度事業報告の件 ・平成24年度計算書類の承認の件 ・会費規程の改正の件 ・各種積立金の承認の件	第14回定時総会

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位:千円)

事業年度	25年3月期	24年3月期	23年3月期	22年3月期	21年3月期
前期繰越収支差額	101,284	78,385	59,510	60,619	41,926
当期収入合計	563,110	524,491	505,586	418,413	366,551
当期支出合計	536,703	501,593	485,606	419,522	347,858
当期収支差額	26,407	22,899	19,980	-1,109	18,693
税引前当期収支	26,407	22,899	19,980	-1,109	18,693
資産合計	243,537	201,957	198,194	178,393	141,724
負債合計	115,846	100,673	119,809	118,883	81,105
正味財産期末残	127,691	101,284	78,385	59,510	60,619

■売上高・総資産・正味財産(純資産)の推移



Ⅲ 当面の課題

1. 新しい班体制による組織の活性化

再編成した班割・班体制の活動を強化し、組織の活性化を図ることが、今後、予想される薬局・薬剤師を取り囲む状況・環境の変化に対応できる手段であると考えています。勉強会、講習会、情報伝達会などを通して会員の皆様のサービス向上を目指します。

2. 薬剤師会館(仮称)の建設

江戸川区医師会地域医療支援センターの竣工式が平成26年3月22日に行われました。当会では、今後の医療の方向性の一つである「居宅・在宅医療などの地域医療の強化」「災害時における地域の医療連携」を強力に推進するため、医師会との連携は不可欠であると考え、新薬剤師会館(仮称)建設のための資金の積み立てを行っています。薬剤師会館(仮称)には、クリーンルーム、研修室、医薬品備蓄施設などの設置を計画しています。

3. 調剤報酬改定・薬価改定の影響

今般、平成26年度4月1日から実施されます「調剤報酬改定・薬価改定」は当会の会営薬局である臨海薬局の経営に大きな影を落とす結果となりました。会員の皆様の薬局経営においても、その影響は避けられないものと思いますが、誠に遺憾ながら大きな減収を伴う、改定となりました。今後につきまして、処方箋枚数の増加、卸商との交渉による売上・収入の増収策を検討することはもとより、経費の徹底した削減を柱とする「中期経営計画」早急に策定いたします。

Ⅳ 株式の保有

なし

Ⅴ 決算後に生じた法人の状況に関する重要な事実

なし

Ⅵ その他

■表彰

◆日本薬剤師会創立120周年記念特別表彰	小菅 貞男
◆東京都教育委員会表彰(健康づくり功劳)	小菅 治男
◆東京都学校薬剤師会会長賞	永妻千代子
◆江戸川区 区政功劳者賞	大山 恵造
◆江戸川区 区政功劳者賞	有阪 捷子